

会 議 録

(8 - 1)

会議の名称		令和5年度 第1回春日部市社会教育委員会議	
開催日時		令和5年6月20日(火)	開 会 午前・午後 10時00分 閉 会 午前・午後 11時55分
開催場所		春日部市教育センター2階 視聴覚ホール	
議長(会長等)氏名		委員長 比嘉 里奈	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人) 三浦 裕、高山 まさ子、松田 洋子、沖田 隆一、樺田 正俊、 比嘉 里奈、小野 奈生子、中島 信一、山田 農久、相田 千代子	
	説明者その他	(出席人数：7人) 社会教育部参事兼生涯学習推進担当課長兼 視聴覚センター所長 野口 美明 文化財課長 中野 達也、郷土資料館長 實松 幸男、 スポーツ推進課長 清水 一男、 スポーツ推進課スポーツ施設担当課長 福嶋 伸五、 社会教育部参事兼中央公民館長 矢野 仁史、 中央公民館事業担当課長 川辺 孝	
	事務局	(出席人数：6人) 社会教育部長 小谷 啓敏、 社会教育部次長兼社会教育課長 佐藤 篤実 社会教育担当主幹 鐘ヶ江 栄喜、社会教育担当主査 大塚 佐夜香 社会教育担当主査 山下 剛史、社会教育担当主事 高野 優香	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		開会、あいさつ、委嘱状交付、社会教育部職員紹介 令和5年度社会教育部主要事業について 議事1 令和5年度春日部市社会教育関係団体事業費補助金について 議事2 各種審議会等委員の選出について 議事3 デジタル社会における社会教育について 報告1 各委員会等の報告について 事務連絡、閉会 (全て公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		非公開部分はありません	
配布資料		資料1 令和5年度社会教育部主要事業 資料2 令和5年度春日部市社会教育関係団体事業費補助金について 参考1：春日部市社会教育関係団体事業費補助金交付要綱 参考2：社会教育関係団体活動紹介チラシ 資料3 各種審議会等委員の選出について 資料4 デジタル社会における社会教育について 資料5 各委員会等の報告	
会議録の作成方法		■ 録音テープ等を使用した要点記録	
会議録署名の指定		春日部市社会教育委員会議運営要領第3条第2項により会議の署名は、 委員長が行う。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>10名の出席があり、春日部市社会教育委員会議規則第3条の定める定足数に達していることの報告。</p> <p>会議公開制度に基づき、議事の全てを公開とし、傍聴者数5名以内とするものの報告。</p>
委員長	<p>2 あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付 ※該当委員が欠席のため、後日交付</p>
事務局・説明者	<p>4 社会教育部職員紹介</p> <p>5 令和5年度社会教育部主要事業について</p>
事務局・説明者	(資料1により各所属長から説明)
事務局	ただいまの説明について、ご質問等がございますか。
委 員	大冨マラソン大会についてお聞きします。実際の使用状況は見えていないのですが、前日に車で走っていて、会場にトイレが並んでいて、男性のトイレが通りから丸見えになっていて気になったのですが、実際はどうだったのでしょうか。
説明者	ご指摘いただいた場所は、庄和総合支所の正面玄関前の少しスペースがあるところで20台ほど仮設のトイレを設置しました。同じようなご指摘を頂戴しておりまして、今回の反省を踏まえまして、次回以降配置につきましては、検討させていただきたいと思っております。
委 員	資料27ページの市民武道館の柔道場ですが、この間の大雨での雨漏りは確認してありますか。
説明者	大雨による武道館の雨漏りは、確認しております。指定管理者に状況を確認したところ、雨の量と風向きによるもので、いつもは起こらない場所なので経過をみてまいります。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	柔道場の掃除用具について、畳の上でモップがけ出来る用具があればいいです。また施設の時計が小さいので、大きめの時計をお願いします。
説明者	いただいた意見は、指定管理者と調整してまいりたいと思います。
委 員	公民館についてですが、最近、公民館も地域のコミュニティの中心にするという傾向がありますが、例えば教育委員会の管轄から市長部局の管轄に移すということはあるのですか。
説明者	令和4年度はコロナ関係で来館者数も減少したということもあります。令和5年度に入りまして、ウィズコロナポストコロナにおきましても、新たな社会に柔軟に対応した各種事業を進めていきたいと考えております。市長部局への移管のお話ですが、現状、個人のあり方、利用者にとってどれが一番よいのかということも含めまして、今後話し合いを進め、利用者のためにより良い公民館のあり方について、いろいろ考えていきたいと思っております。
	<p>6 議事</p> <p>【議事1】令和5年度春日部市社会教育関係団体事業費補助金について 《議長が議事の補助金申請団体からの選出のため、退席。中島副委員長が議長代理で進行。》</p>
議長代理	「議事1 令和5年度春日部市社会教育関係団体事業費補助金について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料2により事務局から説明)
議長代理	ただいまの説明について、ご意見・ご質問などはございますか。
委 員	毎年この表を見てもほとんど変わらない。平成28～29年度に「これからの社会教育関係団体（6団体）の支援のあり方について」という提言書を作りました。課題が4つあり、その解決に向けた支援策をとるよう提言した後、毎年実績の報告で会員数を増やす努力などを行っているかのチェックをしているのかを知りたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>各団体へ現状調査として、事業ごとに担当職員が参加して実情を確認し、また担当者と話しながら、自主財源を確保していただくことは、常々協議しているところです。自主財源については、各団体とも苦労されているようで、この補助金が交付されないと事業自体が難しくなる実情があります。団体の方には、社会教育委員の方からご意見をいただいていることを説明しながら、補助金について続けていきたいと考えております。</p>
委 員	<p>補助金をもらう努力をしているのかが確認できれば全額だしても構わないと思います。</p>
委 員	<p>団体の代表から意見を聞くということはいままでないですが、しない方がいいですか。この申請をする時に、社会教育の活動のために今年もぜひこれだけいただきたいとお願いにきているのか、ただ文書だけ出しているのですか。</p>
事務局	<p>申請にあたっては、今年度の事業はこうして進めたいということで、それぞれお考えの計画書を出してきています。それが対象経費となるかの精査をしますが、これまで通りの金額で設定をしています。意見を聞くということは、一つの考え方ではあると思いますが、交付をするか、しないかを会議で決めていただくということではなく、意見を伺うところが社会教育委員会会議での役割となっています。昨年までは6団体ありましたが、1団体解散をしてしまいましたので、今回は5団体となっています。どこの団体でも立ちいかないという形で、解散されるところも現実的に出てきているというのが実情です。</p>
委 員	<p>《交付の手続きを進めるということで了承。》 《議長が戻り、議事進行。》</p>
議 長	<p>【議事2】各種審議会等委員の選出について 「議事2 各種審議会等委員の選出について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料3により事務局から説明)</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	ただいまの説明について、ご質問などございますか。
委 員	(質問なし)
	《委員の互選により、以下のとおり選出。》 春日部市二十歳を祝う会実行委員会委員：比嘉委員
議 長	【議事 3】 デジタル社会における社会教育について 「議事 3 デジタル社会における社会教育について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 4 により事務局から説明)
議 長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問等ございますか。
委 員	デジタル化が進んで非常に社会が元気になるのですが、そこに落とし穴があって、逆手にとって犯罪に活用されることもあることを市民に知らしめることがいいと思います。
委 員	活用するといいいところもあるんだけど、個人になると自分の判断でやって危ないことも最近あるので、これをまとめるにしても、すべてバラ色みたいな形には受けとめられない。不安があります。
委 員	どういうふうを活用していくか、今後何をするか、良いことと悪いことの区別がちゃんとついて、デジタル化していくことはいいと思います。テレビで、A I に措置される、今度はデジタルより A I ということを見ました。知りたい人に普及させることは全然構わないのですが、デジタルで A I でやる必要があるのか、生の声がいいのかっていうのはよくわかりません。ただ、これから若い人たちはそういうふうになっていくだろうし、良い方法でデジタルというものを使われていく、犯罪じゃないものに使われていくことに対しては、良いと思います。誰でも、若い人だけの世の中でなく、年配の方にも配慮した世の中になって欲しいです。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	適用しなければいけないかなと思います。
委 員	<p>学び方が非常に便利になると、これから中学生、高校生、大学生もみんな使って、いろんなプレゼンとか、企画を作ったり提案したりと若い先生たちはどんどん取り入れています。これからは学校現場でもどんどん進めないといけない。一方で、SNSやLINEの問題はあります。デジタルをきちんと安全に使えるかどうかの力をつけることも学校では求められています。そういう注意点や有効なアプローチみたいなことが定期的でもあると、デジタルへの参画や安全配慮するやり方など、社会教育に繋がっていくのではないかと考えます。学校現場もそういう中で教えないと、将来の社会人、担い手を作っているの、子供たちが大人に教えられればっていうことですが、しっかりした判断力と力や物を持っていないと、社会教育にも影響を与えるので、本当に自覚を持ってこれからもやっていきたいと思います。</p>
委 員	<p>何もできない自分でも一生懸命やってみようという、学ぶということとずっと貫いてきていますので、やってみたいという気持ちが今わくわくしてるところです。これからどの人にも必要だと思うし、全然年齢関係ないと思います。私達ぐらいの年齢でもどんどん挑戦すべき事柄だと思います。このコロナの3年で、リモートなどの聞き慣れない言葉が幾つも幾つも取り変わって、相手の顔がストレートに見られるという時代になりました。これから私自身が、リモートなどのデジタル関係を一生懸命勉強させていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>提言書の方向性の1のところ、調査結果に関して修正を加えた上でとありましたが、どのような修正ですか。</p>
事務局	<p>修正は語尾等の修正で、数字や表などを直すわけではありません。</p>
委 員	<p>オンライン授業について必死でついていったというような形ですが、結果としてはやはり選択肢が増えたという実感です。怖さがあるのも十分承知の上で、やはり啓発活動も社会教育の事業としてはすごく重要なことだと思います。実際にやってこれが楽しかったとか、これをやっていくと怖くなるというような実感を持って経験できるような場</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>というのも、事業としてはあっているのではないかと思います。やらないとわからないというところで、まさにそれを実感できるかが社会教育や生涯教育の場ではないかと思います。意見にあるように、使いこなして、遠隔で参加できるメリットを享受したいという人も一方でいて、もう一方で、デジタルデバイドがデジタル機器を使いながら一緒に社会教育に参加する実感を伴った参加をするなど、様々な選択肢が準備できるのが社会教育や生涯教育の場なので、意見を徴収してまとめるのであれば、今はまさに過渡期として、多様なニーズに答えるような事業が展開できるというような提言書にさせていただけると今後につながるのではないかと感じました。</p>
委 員	<p>人によってはもうこれ以上便利なものはない、人によってはこんな不便なものないとありましたけど、なくても生活できるのも確かです。便利なものほど、それを悪いように使う不正もあり、最近、不正にどうやって対峙するかということがありました。調べてみたら、対峙しても、すぐ倍になって戻ってくるってということで、便利なようで不便なこともあります。</p>
委 員	<p>そのうちスマホなどの打ち込み方も忘れてしまうので、おそらくデジタルで全部口頭で何でもできるような方向になると思います。いかに人間がいい方向に使うかという話なのかなと思います。デジタル社会がいい悪いは別にしても、本当いいところはもちろんあります。チャットGPTを日本は今規制していないですが、もう規制してる国が出てきてます。そういう部分がもう少し一緒に行けるようなものになればいいと思います。</p>
委 員	<p>《事務局案のとおり進めるということで承認。》</p>
議 長	<p>7 報告 【報告1】各委員会等の報告について (資料5を参照) (議長解任)</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	8 事務連絡 (事務局から諸連絡)
副委員長	9 閉会 (沖田副委員長より閉会あいさつ)

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和5年 6月 30日

署名者の職・氏名

委員長 比嘉 里奈